

# 安心して下さい！ 防災やっていますよ！

昨今、災害はいつどこで発生してもおかしくない状態にあります。地震風水害等は、予告なく我々を襲ってきます。今回は地震の対応について考えてみましょう。



まずは、地震が発生すると何がどの様になるから対策が必要となるのか？そして、過去の大地震では、主にどの様な被害が発生したのかを検証してみます。

**関東大震災**では、炎を巻き込んだ竜巻状の空気の渦が発生し大きな被害をもたらす火災旋風が、その猛烈な炎と風によって急速かつ広範囲の火災延焼を引き起こし、死者数10万人以上の大惨事。

**阪神・淡路大震災**では、神戸市の中心部で大規模な火災が発生。住宅街では倒壊した住宅が道路をふさぎ、人や車が道路を使用できなくなる等の被害があり、死者数6434人。



**東日本大震災**では、記憶に新しい死者数・行方不明者数は18455人。この時、震度7を観測した地域だけでなく、長周期地震動により、震源から遠く離れた大阪市などの、高層ビル上層階でも大きな揺れなどが起こりました。また、東京湾岸地域では液状化現象により建築物が傾く大きな被害がでました。

地震は、同じ「揺れる」という特徴でも、揺れによって発生した被害のタイプが違います。当然、時代背景も違えば、過去の地震災害から学んだことで、耐震化・耐火化等のステップアップの対策が施されており、法整備も進んでいます。しかし、災害は毎回形を変えて、我々の備え以上の脅威として襲ってきます。

さて、原点に回帰してもう一度考えてみましょう。「地震」が発生するとどうなるのか？答えは簡単！「揺れる」のです。その揺れが大きすぎる為に我々の造り上げたものが「耐えられない」のです。では耐えられるものを造れば良いと考えるのは簡単ですが、何処まで耐えられるものを造るのが問題になります。今回の熊本地震のように、震度7クラスが連発して発生することを想定して造ることが良いのか？いや、ひょっとすると「震度8」クラスが今後発生しないとは限らないのです。ならば、我々としては「ある程度で線引き」をしなければ、お金も時間も幾らあっても足りません。命はお金では買うことができない！しかし、無い（お金）ものはどうしようも無いのです。やはり「**どこかで線引きをする**」これは仕方のないことです。

現状の建物を、耐震強化することは重要なこと云われています。しかし、新耐震構造を更に新々耐震構造にした



としても、住む人が備えを怠っていれば、1次被害は無くても、2次3次と被害が発生してしまいます。逆に安心して「寝たばこで火災」となったとしたら耐震化にお金をかけた意味がなくなります。



建物の強化も大切ですが「**住む人の強化**」が最も重要になります。では、「住む人の強化」とは、どのようなことをすれば良いのか？まずは「**何を守るのかを定義する**」ことです。これは簡単な考え方ですが、非常に重要な要素です。何を守るかを考えずに備えても「意味が無い」こととなります。この話をするとよく笑われます。なぜか？大半の人は守るものが「命だ！」と思っているからです。実際には「命」より大切なものがあると言う人がいるのも事実です。「命以外」と言う人には我々の考え方は届きません。この人達は、災害発生時に我々の考える「生き残る努力をしない人」です。「災害発生！その瞬間！やっぱり助かりたい！」と云われても、そんなに虫のいい話は無いのです。日頃から「**生き残る努力をする**」その為に「自分のできる範囲の事は自分でやる。」最低限の「**心の準備**」を怠ってはいけません。



地震の大きな揺れで命の危険が迫る！ところが、人それぞれに襲ってくる「揺れ」は同じでも、揺れることで「**命に係わるもの**」は人によって違います。地震の揺れで「命を落とす」のではなく、揺れることで何か「**危険物質**」と変貌するからです。それらは過去の地震災害から考えると、普段便利に使用するものが多いようで、それらは身近にあります。テレビ、冷蔵庫、食器棚、タンス、本棚、窓ガラス、掛け時計、置物等々です。脅威を回避するその為にも、命に関わる最低限の「家具の固定、家電の固定」はしておくべきです。

揺れた瞬間に「どうすれば良いか？」を考えておくことも大切です。自宅に居る場合には「**この場所なら安全**」と云う**自宅内の安全地帯**（ここには何も落ちてこないし倒れても来ない場所）を何力所か確保しておくことです。揺れたらその場所へ行く癖をつけることも大切です。

全国で発生する災害をみれば、決して他人事ではありませんね。「明日は我が身！まずは、「自分が死なない行動ができるのか？」今一度、確認をしましょう！

ところで、自分ができる！重要で簡単な最低限の行動は何か？それは「**あいさつ**」です。挨拶をすることが大きな備えになります。これは過去の災害の教訓の中でも最も重要で有効だと云われているものです。「**日頃の挨拶が大きな防災活動になる**」これ本当の話です！安心して下さい「**日々の挨拶も防災です！**」

